

(令和4年3月29日 庁議)

部 等 名	知事政策局 リニア未来創造局 産業労働部
-------	----------------------------

件 名	「前進！やまなしスタートアップ構想」の策定について（報告）
経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県がコロナ後においていち早く発展を遂げるためには、経済発展や地域全体を活性化するスタートアップの強力なパワーが必要。 ○ 本県は、水素・燃料電池、医療機器、半導体及びロボットなどの分野で先端的産業が発展。また、中部横断自動車道をはじめ、交通環境も急速に進展しているところ。 ○ これらの特長を十分に生かし、スタートアップに①本県を選択してもらい、②夢の実現を支援し、③ともに本県も成長するため、構想を作成しスタートアップ関連施策を強力に推進する。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構想の内容 別添「構想（概要版）」のとおり ○ その他 構想は、令和4年度当初予算により新設する、スタートアップ向け専門ポータルサイトに掲載し、本県に関心を持ってもらう契機とする。 また、支援策の見直しに伴い、逐次、内容の更新を行う。

前進！やまなしスタートアップ構想（概要版）



趣旨

- 本県はコロナ後にいち早く地域や経済の成長を遂げようと意図、その際スタートアップは最良のパートナー
- スタートアップのイノベティブなパワーは本県が目指す高付加価値化やハイクオリティイメージの増幅にも効果が期待できる
- 事業環境を言えば本県は先端的産業が発展、サプライチェーンの構築や関係研究機関の立地も着々、中部横断自動車道など交通状況も急速に進展
- これら特長を生かし志ある方に①本県を選んでいただき②夢を実現し③ともに本県も成長するため、構想を策定しスタートアップを全力で支援する

1 本県の特長

①先端的な産業の進展、②「甲斐の国から開の国へ」国内外に通じる交通のクロスポイントとして発展
スタートアップにとっても大きな利点であり、これらの特長を本県誘致や誘致後支援において最大限活用していく



水素・燃料電池



- 県自らグリーン水素を製造
- 世界的研究機関の山梨大学など研究機関が集積
- 国内最高の事業環境

医療機器



- 国内最大の医療機器先進地・静岡県との連携（総合特区認定）
- 専門支援機関メディカルデバイスコリドーセンターによる支援

半導体、ロボット



- 半導体、ロボット分野で世界的企業が立地
- 好影響がサプライヤーに及び、県内企業の技術力は飛躍的に向上
- 有力な研究機関や支援機関による手厚い支援が可能
- 高度な技術力を持つ本県企業は様々な先端的産業の事業展開において有力な連携相手に
- ODM・OEMは得意中の得意、ファブレス企業との連携やオープンイノベーションに好適な企業が多数存在

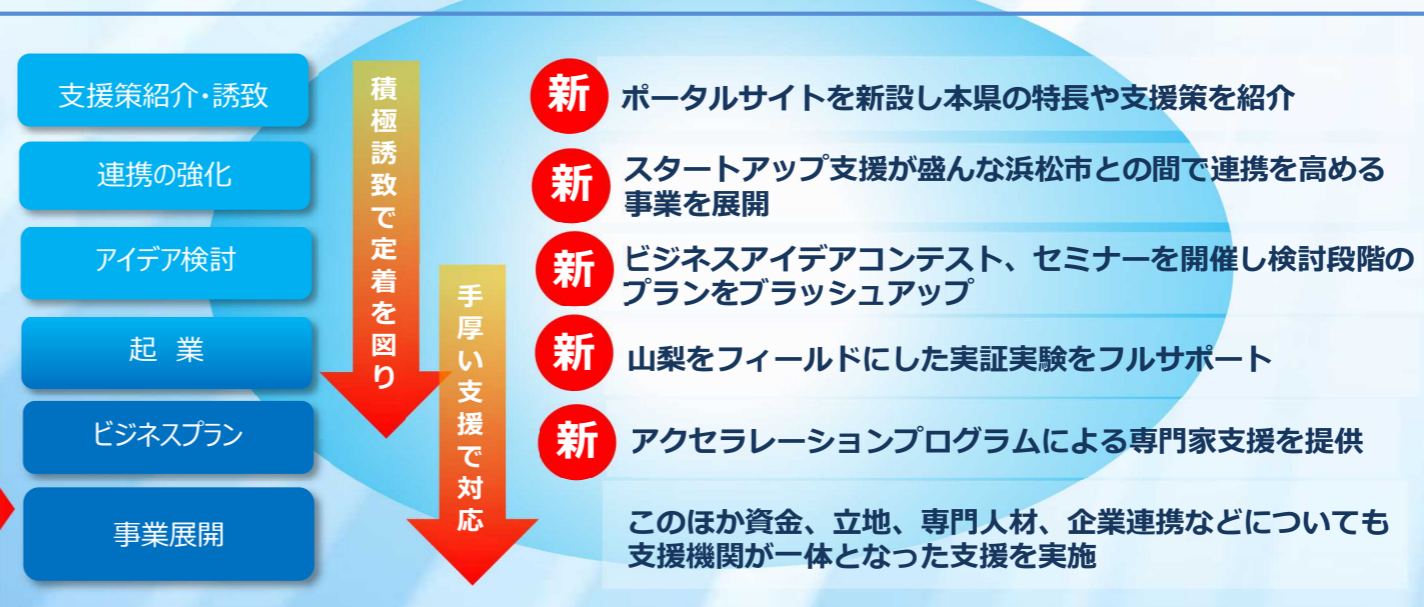
2 支援体制の強化

意欲的な支援機関などを会員化し支援体制再構築のうえ協調支援
製造業のほか農業、アート関係の新規事業も幅広く支援



3 支援策の強化

支援策を強化し施策パッケージとして予算計上
令和4年度当初予算額 140,313千円



4 連携の強化

交通の進展や地理的優位性を生かし東京圏のみならず今後は静岡県や愛知県など広範囲に連携関係を構築（海外の有カスタートアップとの連携も視野に）
本県へのスタートアップ誘致につなげる

